桜川市
SAKURAGAWA

不思議の時がうつろう町

真壁を歩こう

真壁は、江戸時代から明治・大正にかけて、この地方の文化・産業の中心地として栄え、隆盛を誇った商家の人たちが次々と蔵や門などを建てました。市街地には、２６６余棟を数える見世蔵・土蔵・門などが、歴史ある町割りと共に息づいています。平成１１年度から国の登録有形文化財制度を活用し、１０４棟の登録を受けています。

1 谷口家住宅
真壁の近代を支えた谷口製糸所建物群と旧家住宅建物
2 大森家住宅
大正初期の面影を残している建物群
3 谷口義衛家住宅
明治中期の珍しい住宅建築

4 増渕宥市家住宅
大工増渕市太郎が自ら建設した貴重な建物群
5 橋本旅館
典型的な昭和初期の旅館建築
6 桜井家住宅
古式を保ち、造りの良さが特徴の建物群
7 佐藤家住宅
堂々たる風格と細部の意匠に古式を留める本格的な薬医門
8 増渕家住宅
棟札により建設時期が特定できる明治初期の建物群
9 中村家住宅
江戸時代末期の貴重な建物群
10 関根家住宅
明治初期の典型的な関東の町屋
11 中村家住宅
伝統的な町並み景観を残す新宿通りの貴重な建物
12 西岡家住宅
明治中期頃の面影を残す貴重な建物群
13 旧樺穂小学校校舎
明治期の小学校校舎
14 出川家住宅
昭和初期の特徴をよく現している建物群

15 鈴木醸造
玄関を設けた本格的な江戸末期の農家住宅
16 谷田部家住宅
江戸期の家の格式を示す真壁を代表する長屋門

17 鈴木家住宅
明治期の貴重な建物群
18 猪瀬家住宅
明治時期の本格的で造りも良い薬医門
19 塚本家住宅
大正中期から末期にかけて建設された土蔵造り建物
20 根本医院
伝統的な門の普及状況を示す江戸期の高麗門
21 土生都家住宅
本家との違いを強調した明治期の高麗門
22 村井醸造
17世紀以来の歴史を誇る酒造り
23 伊勢屋旅館
明治期の伝統的な町屋建築と土蔵造りの料亭建物
24 高久家住宅
典型的な関東の町屋
25 古橋家住宅
江戸期の特徴を良く留めている見世蔵
26 潮田家住宅
関東の三越　呉服太物商鶴屋
27 密弘寺不動堂
貴重な江戸末期の仏堂
28 塚本茶舗
明治中期の小規模ながら本格的な土蔵
29 木村家住宅
建築年代（嘉永６年）が判明する伝統的町屋
30 入江家住宅
多くの伝統的建造物の重要な構成建物
31 旧真壁郵便局
戦前・戦後を通じてランドマークとして親しまれた近代建築
32 川島書店
典型的な江戸型の見世蔵
33 川島洋品店
江戸末期頃の建築の土蔵
34 山中家住宅
古式を留める貴重な長屋門と際立つ土蔵
35 三輪家住宅
典型的な大正初期の建物群
36 星野家住宅
端正な書院造風の主屋を持つ伝統的な町屋
37 村上家住宅
明治後期の貴重な建物群
38 市塚紀夫家住宅
店舗の南側に、養蚕場をもつ曲屋建物
39 平井家住宅
伝統的な町屋形式を受け継ぐ明治中期の建物群
40 土谷家住宅
海鼠(なまこ)壁を用い、軒の造りも特徴的なお助け蔵

41 小林商店
関東の町屋形式を継承する昭和初期の店舗
42 細谷家住宅
本格的な長屋門と江戸時代の農家風の造りを残す明治末期の住宅建築
43 市塚章一家住宅
海鼠(なまこ)壁を用いた年代が判る唯一の長屋門
44 市塚政一家住宅
比較的大規模で保存状態の良い長屋門
45 市塚昌宏家住宅
古式を留める貴重な薬医門
46 北岡家住宅
創建当初の状態で使用されている昭和初期の町屋形式の建物

47 西岡本店
明治初期に建設された醸造場
48 小田部鋳造
梵鐘や半鐘・天水鉢などの伝統工芸の拠点施設

町並み散策

（自家用車・観光バス）

高上町駐車場から出発

御陣屋1周2時間コース

高上町駐車場～㊱～㉟～㉛～㉜～⑪～⑩～⑨～⑤～⑥～⑦～⑧～⑬～⑫～⑱～⑲～⑳～㉑～㉒～㉓～㉔～㉖～㉘～㉙～㉚～高上町駐車場

ゆったり散策3時間コース

高上町駐車場～㊱～㉟～㉛～㉜～㉝～㉞～⑪～⑩～⑨～⑤～④～③～②～①～⑥～⑦～⑧～⑭～⑬～⑫～⑱～⑲～⑳～㉑～㉒～㉓～㉔～㉖～㉗～㉕～㊻～㊺～㊹～㊸～㊷～㊶～㊵～㊴～㊱～㉟～㉛～㉜～⑪～⑩～⑨～⑤～④～③～②～①～⑥～⑦～⑧～⑬～⑫～真壁駅・真壁第一体育館

（つくばエクスプレス＋急行バス）

真壁第一体育館・真壁駅バス停から出発

御陣屋1周2時間コース

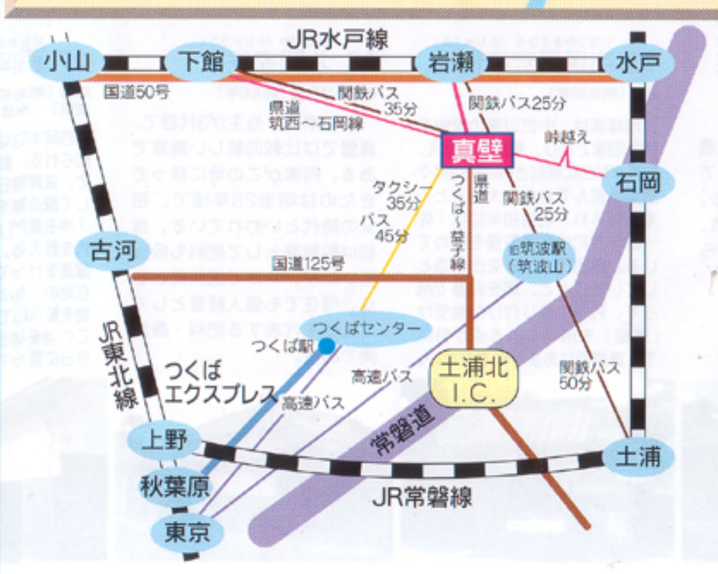
真壁第一体育館～⑯～⑮～（真壁駅）～⑰～⑱～⑲～⑳～㉑～㉒～㉓～㉔～㉖～㉘～㉙～㉚～㉛～㉜～⑭～⑬～⑫～真壁駅・真壁第一体育館

ゆったり散策3時間コース

真壁第一体育館～⑯～⑮～（真壁駅）～⑰～⑱～⑲～⑳～㉑～㉒～㉓～㉔～㉖～㉗～㉕～㊻～㊺～㊹～㊸～㊷～㊶～㊵～㊴～㊱～㉟～㉛～㉜～⑪～⑩～⑨～⑤～④～③～②～①～⑥～⑦～⑧～⑬～⑫～真壁駅・真壁第一体育館

鍋屋地区コース

㊼・㊽



真壁へのアクセス

＜電車・バス＞
①（つくばエクスプレス）つくば駅下車→タクシー35分／バス45分
②（JR水戸線）岩瀬駅下車 ⟶ （関鉄バス）真壁駅下車
＊（「筑波山・土浦」行き）
③（JR水戸線）下館駅下車 ⟶ （関鉄バス）真壁駅下車
④（JR常磐線）土浦駅下車 ⟶ （関鉄バス）真壁駅下車
＊（「真壁・岩瀬」行き/筑波山乗り換えの場合あり）

＜自動車＞
①（常磐道）土浦北I.C.より国道125号をつくば方面へ直進北上して県道（つくば～益子線）で計45分
②国道50号　岩瀬 ⟶ 県道（つくば～益子線）で20分
③国道50号　筑西 ⟶ 県道（筑西～石岡線）で25分

文化財に関する問い合わせ先

茨城県桜川市教育委員会 文化課 文化財係
〒300-4495　桜川市真壁町飯塚911
☎0296-55-1111
e-mail:bunkazai@city.sakuragawa.lg.jp

桜川市歴史民俗資料館
〒300-4408
桜川市真壁町真壁57-1
☎0296-55-0556
e-mail:rekishi@city.sakuragawa.lg.jp

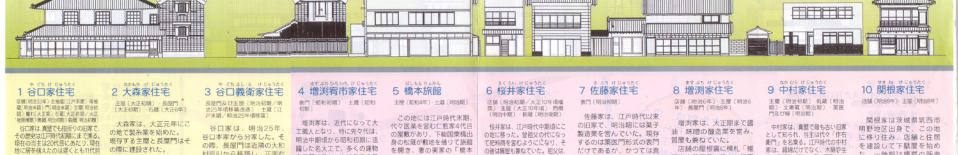
真壁の登録文化財

桜川市
SAKURAGAWA

茨城県

登録文化財とは……。

建築後５０年を経過した住宅や蔵のほか、煙突・橋など幅広い建造物について保存及び活用を進めるため、平成８年に文化財保護法に改正して登録文化財制度が創設され、この制度により国の文化財登録原簿に登録されたものが、国の登録有形文化財。いわゆる「登録文化財」です。指定文化財と異なり、緩やかな規制で文化財を自由に活用できることが特徴です。



1 谷口家住宅

谷口家住宅（旧加藤家）（旧菊原家）（旧菊原家分家）（旧菊原家別宅）（旧菊原家別宅分家）（旧菊原家別宅別宅）（旧菊原家別宅別宅別宅）（旧菊原家別宅別宅別宅分家）

谷口家は、真壁でも屈指の分限家で、その歴史は江戸時代初期に遡る。現在の主屋は文政期に造られ、江戸時代末期までは、ほぼ今と同じ姿で建て増しを繰り返されていたと考えられる。幕末には、さらに多くの建物が建設されていたと考えられる。また、この家は、代々、醤油醸造を営んでいたことから、醤油蔵を始めとする、多数の蔵が現存している。また、この家は、明治期に醤油醸造を廃業し、その後、大正時代に、この家の当主が、「真壁の文化財」の指定第１号となった。

2 大蔵家住宅

大蔵家は、大正元年に、この地で醤油業を始めた。現在は、醤油醸造を廃業し、民間博物館として、一般に公開している。

3 谷口醤油家住宅

谷口家は、明治２５年創業の醤油業から分家した。その際、長屋門は近隣の大町用引小から移築し、正面右側に土間部分を設け、ショーケースを置いて、その奥を帳場風に改造、さらに、母屋に、仕原部分を増築した。

4 増渕酒造家住宅

増渕家は、江戸時代から酒造人として、特に清酒では、明治中期頃から昭和初期に掛けて、多くの酒類を手掛けるとともに多数の蔵を有していた。現在は、「日本酒蔵」（和洋式３階）、中村（一三）家造作蔵及び付属（大正２年）、樽木加蔵（昭和４年）などが知られる。

5 橋本旅館

江戸時代には、この地には、代々医業を営む仁仁家又は仁仁の屋敷があり、下総国常陸国の伝説の「真壁の伝説」に、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

6 桜井家住宅

桜井家は、江戸時代中期頃にこの地に来て、醤油の販売を始めたと伝えられ、その後、醤油醸造を営んでいた。幕末期、この家は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

7 佐藤家住宅

佐藤家は、江戸時代以来の旧家で、明治期には味噌醸造を営んでいた。現在、この家の屋敷は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

8 増渕家住宅

増渕家は、大正期まで醤油業・味噌の販売業を営み、質屋も兼ねていた。

9 中村家住宅

中村家は、真壁で最も古い旧家で、江戸時代、特に、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

10 関根家住宅

関根家は茨城県鉄西市明野地区出身で、この地に移り住み、医師として、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

11 中村家住宅

中村家は、江戸時代末期に木材商を営んでいたが、その後は米問屋に転じ、先代まで酒類販売を営んでいた。この家は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

12 西岡家住宅

西岡家の敷地には、江戸時代初期の記録に、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

13 石博博物学校校舎

石博博物学校校舎（旧石博館）（大正時代）

石博家の敷地に現存する博物学校校舎は、明治２０年代後半に開設されたもので、明治末期の分校が置かれ、現在は、この家の屋敷が、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

14 山田家住宅

この家の屋敷は、明治２０年頃に、この家の屋敷が、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

15 鈴木醸造

鈴木家は、江戸時代初期から、この地で、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

16 谷田部家住宅

谷田部家は、近世初期からこの地に住んでいた名主を務め、明治初期に、この屋敷を構えた旧家である。

17 鈴木家住宅

鈴木家は、江戸時代後期の文化・文政期頃からこの地に住んでいた。この家の屋敷は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

18 猪瀬家住宅

猪瀬家は、中家出身の高橋氏と同姓関係にあった石下酒造の家系で、明治期から昭和初期にかけて２代にわたって戸長（現在の市長）を務めた。

19 塚本家住宅

塚本家は、明和１０年代創業の酒造業を営んでいた家系で、酒造業を営んでいた。明治２７年頃酒造業を廃業し、明治期から昭和初期にかけて、この家の屋敷は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

20 根本医院

根本家は、江戸時代末期にこの地に開業を構えて以来、この家の屋敷は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

21 土生部家住宅

土生部家は、真壁町酒造の出身で、現当主の母方の実家は、同じ町内の第一の酒造家である。根本家の、この家は、分家したのちは、６代目とされている。現存する土蔵の門は、その根本家の分家にあたる。この家は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

22 村井醸造

醸造（明治末期）、母屋（大正期）、蔵（大正期）、煙突（昭和初期）、煙突（昭和末期）

村井家は、真壁町酒造の出身で、現当主の母方の実家は、明治末期から、この家の屋敷が、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

23 伊勢屋旅館

主屋（明治中期）、土蔵（明治中期）

伊勢屋（旧中家）は、既に幕末からこの地にあったが、２代目まで「駅伝馬」と称し、真壁でも最も古い旅館である。

24 高久家住宅

高久家は、江戸時代から代々雑貨商を営み、屋号を「つるや」と称した。当初は、真壁の中心部に、この家を構えていたが、明治期、この家は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

25 古橋家住宅

古橋家は、江戸時代から代々雑貨商を営み、屋号を「つるや」と称した。当初は、真壁の中心部に、この家を構えていたが、明治期、この家は、「真壁の伝説」を語り伝説として、この家の屋敷が、「真壁」を伝えた。

26 瀬田家住宅

瀬田家は、江戸時代には、「酒屋」、「醤油屋」、「和菓子屋」、「酒屋」、「醤油屋」、「和菓子屋」、「酒屋」、「醤油屋」、「和菓子屋」